

21世紀に向かって輝きながら婦人部活動

上灘漁協婦人部

副部長 島津好美

1. 地域の概況

「いらっしゃいませ。」「ありがとうございます。」と笑顔で言えるように、地域の方たちに支えられて6年になり、私たちの住む双海町は松山市から西へ25Km、伊予灘に面し、四季折々の花が楽しめ、沈む夕日は日本で新鮮なお魚とミカンの町である。

又、自然に恵まれた私たちの所属する上灘漁業協同組合は、組合員314名で巾着網、さわら流し網、小型底引き網業を中心とした漁協である。

2. 漁業の概況

私たち婦人部は、昭和29年12月に県下で2番目に結成され、現在部員数85名、部長1名、副部長2名、会計1名、監事2名、事務局と4つの支部で構成されている。主な活動は漁協事業の推進、魚食普及、生活改善、貯蓄推進運動、海を守る運動の展開、特に地球にやさしい環境問題、他団体との交流、地域でのボランティア等を行っている。

3. 研究・実践活動の課題選定の動機

活動を通して、昭和60年頃、重点婦人部活動で価格の安い太刀魚等のミリン干、ジャコ天の試作に取り組み、県の工業技術センターに材料を持参して何度か技術指導を受けに行った。平成3年県の委託事業として、加工事業を本格的に取り組むことになった。平成6年～7年に重点婦人部活動として水産加工品を作り地域の特産品となった。加工事業に取り組む中で、私たちが今できることは何か、地域に役立つことは何か、次々と夢が広がった。主人たちの取った雑魚に付加価値を付け、自分たちで加工し、自分たちの店舗で販売できたら？として婦人部員が高齢になっても安心して働くことができないだろうか、婦人部活動資金ができたらいいなあ、町おこしに協力できたら、その当時は年3回夏祭りと文化祭、県産業まつりにイベントとして定着した活動になっていた。双海町では、特に地域の特産品作りに力を入れている。私たち漁協婦人部では、魚食普及活動の一環として、魚料理を町報紙に1年間連載して頂いたり、地域ぐるみで理解を得て活動を進めていった。

4. 研究・実践活動状況及び成果（効果）

平成4年全国漁業従事者の体験発表に出席させて頂いた。今後の課題として、いろいろ大きな夢を述べたと前任者がよく申している。ちょうどそのような折、全国道の駅ブームにのったように、私たちの住む双海町に「沈む夕日が立ち止まる町」をキャッチフレーズに、平成7年3月16日に「ふたみシーサイド公園 道の駅」がオープンすることになった。公園内の一角に鮮魚コーナーとジャコ天コーナーができたことで、婦人部にジャコ天販売をしてみても、と行政や組合より要請があり、臨時総会を開いたが、賛成の結果がないまま期日が来た。とうとう、見切り発車することになった。赤字がでたらどうする、原料が調達できるか、人材の確保など色々な苦勞もあったものの、開店してみると赤字の心配もなく、年毎に売上が伸びていき、平成8年には念願の学校給食にも採用され、平成10年2月に増築して頂き、商品もたくさん作り、販売することで売上は目標以上に上がり、その為に婦人部員も多く働けるようになった。商品として鯛めし、シーフードコロケ、お魚まるごと食べロットクッキー、タコ焼き等、どの商品も大好評で土日には行列ができるようになり、みんな忙しい中にもうれしい悲鳴である。

地域の小学校で、地元で取れる魚を使って郷土料理教室を開催し、海辺の学校の生徒1、2年生は魚を炭火で焼き、手作り「みそ」でさつま汁、太刀魚のマリネ等、山の学校の生徒5、6年生はジャンボ巻寿司し、ハマチの変わり刺し、県魚の真鯛で鯛めしを婦人部員さんとおさかなママさんの協力を得て実施した。子供達の期待は試食会のようであった。「美味しいねー。」と言いながら、おかわりをする子供もたくさんいたようである。本当に和やかで楽しい1日であった。後日、生徒さんからのお礼のメッセージが届き、目を細めながら読み返したものである。

私たちは、海に生活の糧を求めている、子孫に譲り渡す大切な海をきれいに汚さぬよう、守らなければならない。合成洗剤追放運動や海岸清掃に取り組んでいる時、平成10年にEM菌に出会い、勉強し、ボカシ作り、米のとぎ汁でEM発酵液を作りお風呂の中に入れてたり、下水に流していくうち「へ泥」もなくなり、お風呂の天上のカビがいつの間にかきれいに取れる等、いろいろな面で効果が見えてみんな驚くと共に、多くの会員の方や一般の人達もEM発酵液を作り町内にも輪が広がっている。

5. 波及効果

成果として、ジャコ天販売を始めてから組合より活動の助成金を断り、自立でき、売上から婦人部活動ができるようになった。今まで捨て帰っていた雑魚を利用し、100%の

すり身を使い、味を落とさない様に手抜きしない様努力した結果、売上が年々伸び、双海の特産品として定着することができた。主人や私たちは雑魚に付加価値を付けることができたことを喜んでいる。そして、部員が働く場所ができ、生き生きと輝いて活動するようになり、県内外の消費者との交流も増え、又、視察者等も多くなり、いろいろな情報を収集する機会が多く、勉強になり活動に役立っている。特に、売上の中から地域活動やボランティアのため資金を出すことができる様になり、地域内の多くの人に理解して頂き、本当に良かったと思う。

私たちには大きな夢がある。2年前、県農林水産賞という栄えある賞を頂いたのを機に、「ジャコ天でもうけてヨーロッパへ行こう。」という合言葉で目標に向かって頑張っている。

6. 今後の課題や計画と問題点

婦人部の組織強化を図りながら、みんなで役割分担をしっかりと守り、水産加工品による地域の特産品の開発に努力して、そのためには今まで通り着かず離れずの行政の指導を頂きたいと思う。

今まで女性は、男性の次の存在でしかなかった。でも、漁村を守ってきたのはまぎれもない女性の力である。漁村にも高齢化の波は押し寄せ、魚も今まで程取れなくなった。漁業を離れていく人も残念ながらいる。これからは、こうした問題にも積極的に取り組み、女性の輝きが町を輝かせるの信念で努力して参りたいと思っている。

最後になりましたが、シーサイド公園には年間を通して、各種のイベントにより約40万人の人が訪れるようになった。この人達を大切にしたいと思う。双海町に本当に来て良かった、又、行きたいなぁ、そのような気持ちで帰って頂くよう、私たちはみんなで努力し、いきいきと輝いていきたいと思う。

しずむ夕日が立ちとまる町

双海町からの贈り物

「日本の夕日直送」に選ばれた

日本一美しい夕日

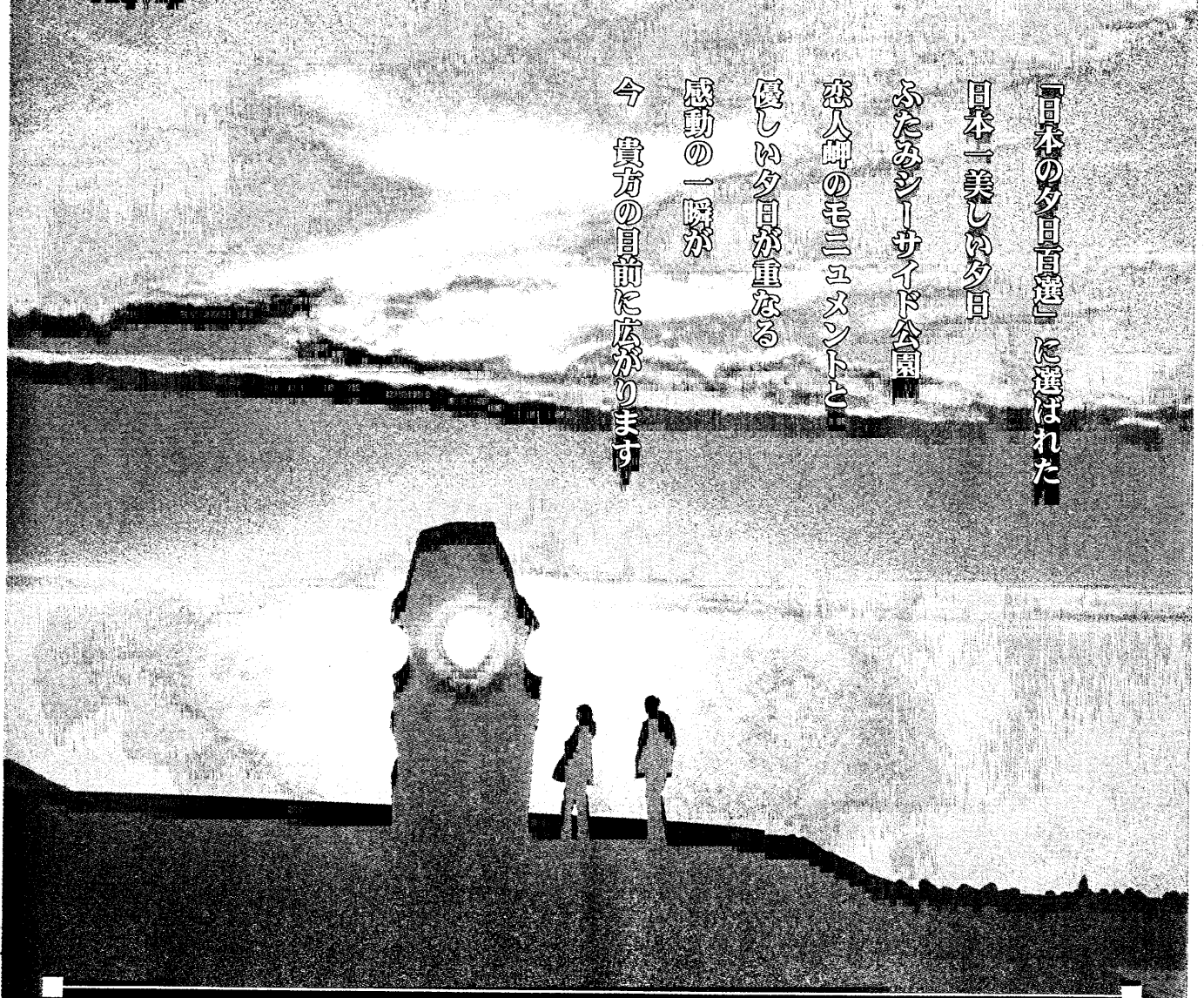
ふたみシーサイド公園

恋人岬のモニュメントと

優しい夕日が重なる

感動の一瞬が

今 貴方の目前に広がります



上野原の
夕日直送



じゃこ天の 美味しい召し上がり方

揚げたてのじゃこ天に串を刺し、フーフー言いながら食べるのが最高。

その1

じゃこ天を網かフライパンの上に乗せてうっすらと焦げ目が付く程焼き、下ろし大根と醤油で食べる。

その2

おでんのネタにして煮込むと美味しい。

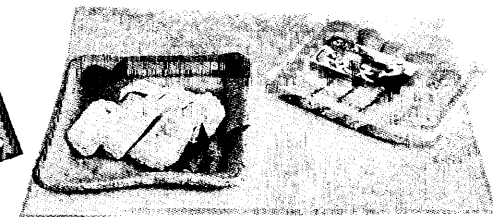
その3

醤油飯の具にしたり、ヒジキと一緒に煮込むなど、料理の方法はたくさんあります。

その他

味が自慢の
の手作り
じゃこ天

瀬戸内の伊予灘に面した双海町は、昔から漁業の盛んな町で新鮮な魚介類が水揚げされています。その小魚を使って漁協婦人部が丹精込めて手づくりした味が自慢のじゃこ天は、ふたみシーサイド公園で実演販売され多くの方の好評を得ています。ヘルシーでカルシウムたっぷりの味をぜひご賞味ください。



じゃこ天

エビ・煮干し入り
食べるおクッキー



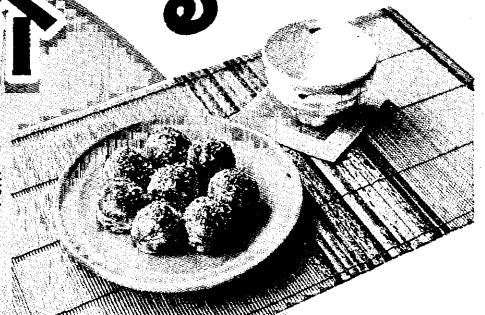
漁協婦人部の販売している 食べ物紹介



いりこみそ

道の駅弁
名代鯛飯

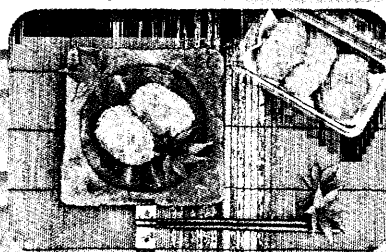
夕焼け
たこちゃん



季節限定コロッケ



南蛮漬



昔懐かし
「ぼっぽ」

商品のご注文やお問い合わせは下記までご連絡ください

ふたみシーサイド公園内練り製品コーナー

住所：〒799-3207 愛媛県伊予郡双海町大字高岸甲237番地

TEL：089-986-0522 FAX：089-986-0522

双海の休日はアンケート調査も基に作成しました。

双海の休日

教えちゃう！
双海の穴場！

- ① 高野川 黒瀬海岸
古代のロマンあふれるメサロコイヤの化石がでる海岸。
- ② シーサイドレストラン 海楽園
双海の島、田舎みどりをこしらえた「伊予さつま」サラフ焼き 900円（一日限定90食）副産品！
- ③ オガタマの水
高野川神社 境内に立っています。重要文化財の天然記念物に指定されていて、古来から神水として飲まれています。
- ④ はやぶさ丸・遊漁船
高速船で約3時間！船の上でお料理三昧！
■お問い合わせ/
電話 TEL(089)986-1248
午後5時以降 TEL(089)986-0480 船田祥六さんまで。
- ⑤ 海舟館
双海の漁業の歴史が一目でわかる
- ⑥ 由並小学校
どの層下からも双海の海をながめることが出来ます。
子供たちひとりひとり主役の双海の小学校。

- ⑦ 「道の駅ふたみ」・ふたみシーサイド公園
●海水浴場 400メートルの人工砂浜
●おいしいもの いっぱい！ 特産品センターふたみんC
夕焼けソフトクリーム(200円)もおいしい！
●ミニ水原画
●世界に有名なないや日のミュージアム
大人(中学生以上)400円、小人(小学生以下)200円、3歳児以下は無料
●しあわせになるために！超人形、願い石、幸福の鐘
●夕日への願いを書いて下さい 夕日のポスト
●双海の海をひとりじめ！シーカヤック・スクール
■お問い合わせ/TEL(089)986-1111 双海町観光協会
●夕日をテーマにしたオリジナルが贈れる「夕焼け音楽祭、会場(毎年8月14日開催)
●大人賞！新築な輪 しゃこ天(1枚100円)・たこ焼き(8個入り300円)
●夕日料(1,200円)が人気！ レストラン 夕日館
- ⑧ 制作工房 備前焼「利久」
自然を採るための活動もしている利久作の備前焼が楽しめます。
- ⑨ ふたみ公園ふたみ公園
宿泊施設などをこまめに、スポーツレクリエーション公園、エスケー、キャンプ場、アスレチックコーナーも有ります。
■お問い合わせ/TEL(089)986-1559

- ⑦ 道の駅ふたみ
ふたみシーサイド公園
- ⑧ 備前焼「利久」
- ⑨ 由並小学校
- ⑩ 草地区ほたるの星
- ⑪ 龍崎の里グループ
- ⑫ らくちん観光いちご園
- ⑬ すいせん畑
- ⑭ 蘭水醤油工場
- ⑮ 下瀬郵便局
- ⑯ すいせん畑
- ⑰ ランブくり
- ⑱ 牛ノ峰地蔵尊
- ⑳ パラグライダー

- ⑫ らくちん観光いちご園
1月～2月まで、8万本の水袖が咲きます。益山製菓さんが60年かけて作った日本水袖花開き、興人トイレーターの産物あり。
- ⑬ すいせん畑
1月～2月まで、8万本の水袖が咲きます。益山製菓さんが60年かけて作った日本水袖花開き、興人トイレーターの産物あり。
- ⑭ 蘭水醤油工場
お刺身に最高！特産「三歳(みとせ)醤油を作っているお店です。
- ⑮ 下瀬郵便局
地元アーティストの手作りロビーを行ってあります。
- ⑯ すいせん畑
1月～2月まで、8万本の水袖が咲きます。益山製菓さんが60年かけて作った日本水袖花開き、興人トイレーターの産物あり。
- ⑰ ランブくり
山本蘭水さんは、ランブくりを始めて18年。250個可能なランを吹かれます。毎年4月中旬～5月中旬まで吹かれます。
- ⑱ 牛ノ峰地蔵尊
島井千原さんとともに守衛を請じた「守衛めだか、がいつぱい！
■お問い合わせ/TEL(089)986-0859
川口眞直(がわくちりさお)さんまで。
- ⑳ パラグライダー
島井さんと島崎さんがなし作りを始めて10年。8月中旬～10月上旬まで開催。晴よし！景色よし！
■予約は双海町観光協会 TEL(089)986-1111

- ⑩ 草地区 ほたるの星
湖境の「あると生きのの星」にも選ばれています。上瀬川のせせぎすの音で保存されています。
■ほたる祭り、8月の第1土曜日、由並小学校で開催されます。
- ⑪ 龍崎の里グループのおいしいもの
黒加賀・岩谷、おいしい手作り味噌が大人気！
餅入お餅つき(10月～5月末 祝日)も大人気！
ひしお、餅つき名人が人気！
ふたみシーサイド公園まで販売しています。
- ⑫ らくちん観光いちご園
毎年1月～5月まで開催。地上1メートルにいちごができるので、とりやすい。ほイスの方も楽しめます。
■お問い合わせ/TEL(089)986-0273 西岡富子さんまで。
- ⑬ すいせん畑
面積58畝超え、双海町にて販売、おいしいです！
- ⑭ 蘭水醤油工場
大輪船(花の重箱約30トン)で船場大匠費を費やし大野蘭水さんは、26年蘭水づくりに没頭！
- ⑮ 三島神社
上瀬川より距離を西へ100メートル、奥庭をくぐって石段を171段上がると、御宇ノキの美しい神門があります。

ちよこっちはなし

夕日百選
2000年、日本全国の「夕日百選」に選ばれました。また、しずむ夕日が立ちどまるまち一雙海町。

夕日・夕焼け物語
夕日の魅力と感動をみなさんに伝えたい。この本を贈って夕日・夕焼け博士になりましょう。
■お問い合わせ/夕日のミュージアム 売付まで。
双海の夕日・夕焼けフォトコンテスト
今年度、第9回夕陽コンテストは、双海町の福田さん。■お問い合わせ/双海町観光協会 TEL(089)986-1111まで。
双海専走水餃
平成元年創業。「夢を持って来る、高校生たちがメインの大衆グループ、皆さんおられるを喜びます。
双海の星空
夕日ゴッコと書かれています。夕日の空の歴史が書かれています。
■お問い合わせ/TEL(089)986-1111

